

**ジフテリアトキソイドの  
副反応報告状況について**

**○ジフテリアトキソイド**

商 品 名 : ジフトキ「ビケンF」  
 製 造 販 売 業 者 : 一般財団法人 阪大微生物病研究会  
 販 売 開 始 : 平成20年2月  
 効 能 ・ 効 果 : ジフテリアの予防

**副反応報告数  
(平成27年1月1日から平成27年10月31日まで報告分まで：報告日での集計)**

平成27年1月1日から平成27年10月31日までの医療機関への納入数量を接種可能なべ人数とし、副反応報告頻度を計算したものは以下のとおり。  
 ※報告日での集計のため、以下の件数には接種日や発生日が対象期間以前の症例も含まれている。

(単位:例(人))

	接種可能なべ人数 (回数) ※	製造販売業者からの報告		医療機関からの報告	
		報告数 ( ) : 接種日が左記期間内の症例		報告数 ( ) : 接種日が左記間内の症例	
		報告頻度		報告頻度	うち重篤
平成27年1月1日 ～平成27年10月31日	159	0		0	0
(参考) 平成25年4月1日 ～平成27年10月31日	643	0		0	0
		0%		0%	0%

※1人あたり0.5mL接種されたと仮定した。

**平成27年1月1日から平成27年10月31日報告分の重篤例の転帰**

(単位:例(人))

	製造販売業者からの報告						医療機関からの報告					
	回復/ 軽快	未回 復	後遺 症	死亡	不明	計	回復/ 軽快	未回 復	後遺症	死亡	不明	計
<b>重篤例数</b>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>うち同時接種あり□</b>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注意点)

※ 副反応報告については、医薬品との因果関係が不明なものを含め、製造販売業者又は医療機関から報告されたものであり、個別に医薬品との関連性を評価したものではない。

※ 「重篤」とは、死亡、障害、それらに繋がるおそれのあるもの、入院相当以上のものが報告対象とされているが、必ずしも重篤でないものも「重篤」として報告されるケースがある。

※ 製造販売業者からの副反応報告は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第68条の10に基づき「重篤」と判断された症例について報告されたものである。なお、製造販売業者からの報告には、医療機関から報告された症例と重複している症例が含まれている可能性があり、重複症例は、医療機関報告として計上している。また、その後の調査等によって、報告対象でないことが確認され、報告が取り下げられた症例が含まれる可能性がある。

※ 製造販売業者からの報告には、複数の製造販売業者から重複して報告されている症例が含まれている可能性がある。

沈降ジフテリアトキソイド接種後のアナフィラキシー※が疑われる副反応症例まとめ(重篤症例)

※【選択基準】  
副反応名が、「アナフィラキシー」、「アナフィラキシー反応」、「アナフィラキシーショック」、「アナフィラキシー様反応」、「アナフィラキシー様ショック」として報告され

報告期間	症例数	専門家の評価によりアナフィラキシー のプライトン分類評価が3以上とされ た症例	推定接種人数
平成25年4月～平成25年6月	0	0	92
平成25年7月～平成26年2月	0	0	209
平成26年3月～平成26年9月	0	0	131
平成26年10月～平成26年12月	0	0	52
平成27年1月～平成27年10月	0	0	159

沈降ジフテリアトキソイドの副反応報告状況

平成25年4月1日から平成27年10月31日までに報告された副反応例数及び副反応種類別報告件数は以下のとおり。医療機関からの報告については、報告医が「重篤」としたものを集計した。

	平成25年4月～平成26年12月までの企業報告と医療機関重篤症例			平成27年1月～平成27年10月までの企業報告と医療機関重篤症例		
	医療機関からの報告	製造販売業者からの報告	総計数	医療機関からの報告	製造販売業者からの報告	総計数
副反応症例数	0	0	0	0	0	0
副反応件数	0	0	0	0	0	0
副反応の種類	副反応報告なし					

\*未知の事象